

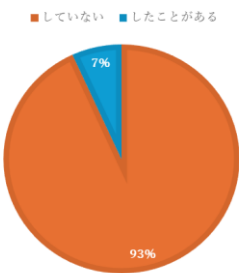
令和7年度 青空保育園 自己評価表

令和7年度 保育士25名に対し全国社会福祉協議会から出ている「人権擁護のためのチェックリスト」を利用しました。「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について保育を振り返り自らの保育の質を高める為、自己評価を行っています。チェックリストに掲載されている、している（していたことがある）は、今年度だけでなく逆のぼっての評価となっています。

1. 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかわり	していない	してい る
1	登園時	朝、母親に抱かれて、なかなか離れられない子どもに「ずっと抱っこしてもらっていると恥ずかしいよ」と言葉をかける	25	0
2	日中	製作活動で子どもが書いた作品をみて、「そこ違うよ。もう一枚書いてみる？」とだけ言って、書き直すように働きかけた。	25	0
3		排泄失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉かけをする。	23	2
4		子どもが、友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に責めるような言葉がけをする。	23	2
5		子どもが保育者に話しかけた際、「今忙しいから後にして」と言う。	21	4
6		苦手なことを渋っている子に、「早くやって。できないなら後ろに行って」と言ったり、他者と比較したりなど否定的な言葉がけをする。	24	1
7	昼食時	食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューをすべて配膳せず、食べたら次のおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。	25	0
8	降園時	お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友達を泣かせてしまいました」と他の保護者にも聞こえるように言う。	25	0
9	その他	子ども同士のトラブルが起きたとき、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。	25	0
10		自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。	17	8

子ども1人ひとりの人格を尊重しないかわり



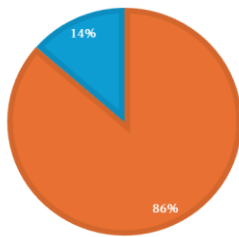
- ・誰に対しても平等に接し、関わることは日々心掛けていて、トラブルが起きた際にも責めることは避け、子ども達の言い分をしっかりと聞くようにしている。
- ・製作などでは決まった手本通りにならなくても否定せず、自由に表現する様子を認め、褒めるようにした。
- ・自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対しても、トイレに行くよう促したこともあったが自発的に訴えることができるような関わり方を意識していきたい。

2.物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉かけ

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している
1	日中	集団行動をするための言葉かけをした際、言葉かけを聞かない子どもに「〇〇しないなら〇〇できないからね」と言葉をかける。	16	9
2	昼食時	ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、ほかの子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。	25	0
3	午睡時	なかなか寝付けずにいる子に「早く寝てよ。あなたが寝ないと仕事が出来ないんだよね」と言う。	24	1
4		寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする。	18	7
5	その他	どなったり、「〇〇しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの（鬼等）を使ったりして、子どもの保育者の思い通りに動かそうとする。	25	0

物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉かけ

■ していない ■ したことがある



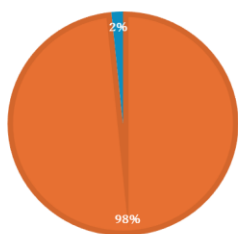
- ・子どもが自由に自分の意思を表現できるような雰囲気作りや、子どもの意思表示を認めながら保育できたと思う。
- ・無理やり何かをさせるのではなく自発的に行動できるような声かけの工夫を意識するようにした。
- ・できるだけ強要しないようにしているが、頑張ってもらいたいという気持ちが強くなってしまいう時には時々強要してしまう事があったので、個々の意思を尊重していきたいよう心掛けていきたい。

3.罰を与える・乱暴なかかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している
1	日中	子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える。	25	0
2		並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待てず、腕を掴んで引っ張る。	23	2
3		子どもを注意する際に、「だめよ!」と言って子どもの手を叩く。	25	0
4	午睡時	なかなか眠らない子どもに布団を頭からかぶせるなどして強引に押さえつけ、パンパンと強く布団を叩く。	25	0
5	その他	保育者が子どもに注意をしたが、言うことを聞かなかった子どもに対し、廊下に立たせる、散歩に行く際に置いて行こうとするなどの罰を与える。	25	0

罰を与える・乱暴なかかわり

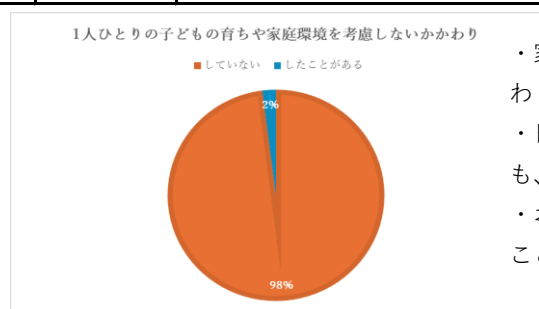
■ していない ■ したことがある



- ・子どもに言葉や行動での暴力的なことはしていない。一人ひとりの人格と個性を大切に考えている。
- ・罰を与えるような関わりや子どもが傷つくような言葉、行動をせずに温かい対応を心掛けることができた。今後も温かい対応や子どもたちが安定するような関わりを心掛けていきたい。
- ・自分が気づかぬうちにやってしまうことがあるので、整列の際なども十分に気をつけていきたい。

4. 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかわり

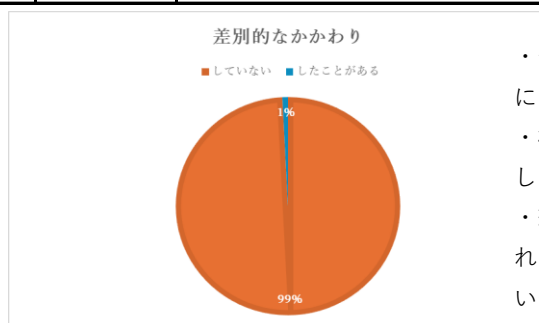
No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかわり	していない	している
1	降園時	いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「〇〇ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。	23	2
2	その他	登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に、子どもに「また〇〇君のお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの。」など否定的な言葉がけをする。	25	0
3		いつもぎりぎりの時間にお迎えにくる保護者に「いつもぎりぎりですね」と言ったり、保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言ったりする。	25	0
4		「お休みの日にどこに行ってきたかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち『全員』に発表してもらう。	25	0



- ・家庭の事に踏み込み過ぎないようにしながら、必要な際は家庭での様子や関わり方を聞き、十分に配慮しながら、サポート出来る所はしている。
- ・日々の子どもの様子に変化が見られた時は、家庭、保護者に配慮をしながらも、しっかりと伝えるようにしている。
- ・お迎えが遅くなることや、忘れ物が多い保護者には「また...」とってしまうことがあったので、公平に対応できるように気をつけていきたい。

5. 差別的なかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかわり	していない	している
1	登園時	挨拶をしてきたか否かにかかわらず、特定の子どもにだけ「おはよう」と言葉がけをする。	25	0
2	日中	いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉使いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。	25	0
3	昼食時	少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、はじめから非常に量を少なくして配膳する。	24	1
4	午睡時	寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。	25	0
5	降園時	クラス全員で帰りの支度をしている時に、なかなかできない子どもに「〇〇ちゃんは早くできないのね、だめな子になっちゃうよ」と言う。	25	0



- ・子どもそれぞれに成長段階があるので、できる・できないで差別しないように引き続き注意して保育していく。
- ・様々な国のご家庭があるので、手紙や貼り出した物を丁寧に説明するようにしている。
- ・給食ではお友だちと楽しく食べる中で、「完食できた」「苦手な物も食べられた」という喜びや達成感を大切にしている。量の加減についても、本人の思いや健康状態を確認しながら調整し、提供するようにしている。

<総評>

・令和7年度の、自己評価は毎年行っているので、子ども達への言葉かけや対応を意識しながら保育を心掛けていきました。また、子どもたちの意思を聞きながら、自発的に行動できるように見守ることを意識し、保育しました。子どもたち一人一人の個性を大切にしながら、個々に合わせた言葉かけや対応を心掛け安心して過せる環境づくりをしていきたいと思ひます。